

会話文のよみわけ練習

名前()

つぎの会話文を 大きな 声と 小さな 声で 読み分けて みましょう。
いみが ちがってきますね。

(ア) 「かくれろ、かくれろ。」

- ① 小さい 声で。あいてに ささやいて しらせて いる。
- ② 大きな 声で。あいてに あわてて しらせて いる。

(イ) 「いったい、どうしたことだ。」

- ① 小さな声で。ぼそぼそと ひとりごと している。
- ② 大きな声で。あいてに しつもん(といかけ)を している。

(ウ) 「ばかだなあ。」

- ① 小さな声で。あいてに やさしく いう。
- ② 大きな声で。あいてを ほんとおこつて いう。

(エ) 「ゆっくり たべなさい。」

- ① 小さな声で。おかあさんが 子どもに やさしく いう。
- ② 大きな声で。おかあさんが おこつて しっかりつけて いう。

(オ) 「いたくない、いたくない。」

- ① 小さな声で。やさしく ささやいて いう。
- ② 大きな声で。がまん がまんと ゆうぎづけて いう。

()